

平成 26 年度森林・林業白書の作成方針（案）

1. 白書の構成

（1）「平成 26 年度森林及び林業の動向」

（ア）トピックス

白書の冒頭で、平成26年度における森林・林業に関する特徴的な動きを抜粋して紹介・解説する。

（イ）特集章

第Ⅰ章を特集章とし、特定のテーマについて詳細な分析等を行う。

（ウ）通常章

第Ⅱ章以降は、「森林の整備・保全」、「林業と山村」、「木材需給と木材産業」、「国有林野の管理経営」、「東日本大震災からの復興」の章立てとし、森林・林業全般について現状・課題の分析等を行う。

（2）「平成 26 年度に講じた森林及び林業施策」、「平成 27 年度に講じようとする森林及び林業施策」

現行の「森林・林業基本計画」（平成23年 7 月閣議決定）を踏まえた項目立てとする。

2. 特集章のテーマ

「平成 26 年度森林・林業白書」では、「森林資源の循環利用を担う木材産業（仮称）」を特集章のテーマとする。

政府の「日本再興戦略」（本年 6 月改訂）等においては、豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を進めるため、新たな木材需要の創出や国産材の安定的・効率的な供給体制の構築等を推進するとされたところである。

これらの取組では、森林資源から木材を生産する林業と、実際に木材製品を利用する消費者・実需者（住宅メーカー等）の間に立ち、

森林資源と木材利用をつなぐ木材産業の役割が不可欠である。

我が国の木材産業は、戦後の需要拡大期には国内外の資源を活用して木材製品の生産を増やし、その後は木材製品への品質・性能の明確化の要請等に応じて技術革新（乾燥材・集成材等）を進め、近年は国内資源の充実と海外原料調達への不安、製品輸入の増加の中で国産材の利用を拡大するなど、木材需給の変遷に対応してきた。

また、最近では新たな動きとして、CLT等の新製品・新技術の開発・普及や公共建築物の木造化、木質バイオマスの利用促進等も進められている。一方、品質や価格で十分な競争ができるような木材産業の体質強化、川上から川下を通じた安定供給体制の構築等の課題もある。

以上を踏まえ、特集章では、森林資源の循環利用等における木材産業の重要性を記述した上で、これまでの木材需給の変遷と木材産業の対応を振り返り、木材産業を巡る新たな動きや今後の課題等を記述する。

3. 今後の予定

今回を含め計3回の施策部会で検討を重ねていただき、林政審議会での諮問・答申を経て、来年5月の閣議決定・公表を目指す。（別添）

（以上）

(別添)

平成26年度森林・林業白書のスケジュール(案)

平成26年9月10日 第1回施策部会

- ・作成方針(案)の検討

11月 第2回施策部会

- ・平成26年度森林及び林業の動向
(構成と内容(案)、主要記述事項(案))

平成27年2月 第3回施策部会

- ・平成26年度森林及び林業の動向(原案)
- ・平成27年度森林及び林業施策(原案)

4月 林政審議会

- ・平成26年度森林及び林業の動向(案)
- ・平成27年度森林及び林業施策(案)
(諮問・答申)

5月 閣議決定・国会提出・公表

◇森林・林業基本法（昭和三十九年法律第百六十一号）

（森林及び林業の動向に関する年次報告等）

第十条 政府は、毎年、国会に、森林及び林業の動向並びに政府が森林及び林業に関して講じた施策に関する報告をしなければならない。

2 政府は、毎年、前項の報告に係る森林及び林業の動向を考慮して講じようとする施策を明らかにした文書を作成し、これを国会に提出しなければならない。

3 政府は、前項の講じようとする施策を明らかにした文書を作成するには、林政審議会の意見を聴かなければならない。

これまでの森林・林業白書（林業白書）の特集について

年度	テーマ名
昭和 47 年度	国民生活と森林・林業、国有林野事業の課題
48 年度	森林資源をめぐる課題
49 年度	林業の発展と山村地域の課題
50 年度	林業の発展と林家の課題
51 年度	林業の地域的発展をめぐる課題
52 年度	木材需給と林業発展の課題
53 年度	林業の発展と森林資源の整備をめぐる課題
54 年度	地域林業の担い手育成をめぐる課題
55 年度	木材需給構造の変化と流通加工部門の対応
56 年度	林業経営の現状と林業発展の課題
57 年度	森林管理の現状と緑資源確保の確保
58 年度	林政の推進と国有林野
59 年度	国産材時代への挑戦
60 年度	森林資源整備の新たな展開を目指して
61 年度	試練にたつ日本林業とその活力回復に向けて
62 年度	新たな林業技術体系の構築
63 年度	豊かな国民生活のための森林づくり
平成 元年度	国民のニーズにこたえる木材の供給と国内森林資源の有効活用
2 年度	森林管理とその担い手のあり方
3 年度	森林の管理と山村の活性化
4 年度	地球環境を守る森林・林業
5 年度	森林と木の時代を目指して ー森林・林業、木材産業の 30 年の回顧と展望ー
6 年度	森林文化の新たな展開を目指して
7 年度	林業、木材産業の活性化に向けて
8 年度	木材の消費・流通構造と国産材供給の課題
9 年度	国有林野事業の抜本的改革
10 年度	木材の利用推進と森林の適切な整備 ー木材を軸とした循環型社会の構築に向けてー
11 年度	世紀を超えた森林整備の推進 ー安全な国土と豊かなくらしの実現に向けてー
12 年度	これまでの林政の推移と新たな基本政策の方向
13 年度	森林と国民との新たな関係の創造に向けて
14 年度	世界の森林の動向と我が国の森林整備の方向
15 年度	新たな「木の時代」を目指して
16 年度	次世代へと森林を活かし続けるために
17 年度	国民全体で支える森林
18 年度	健全な森林を育てる力強い林業・木材産業を目指して
19 年度	林業の新たな挑戦
20 年度	低炭素社会を創る森林
21 年度	林業再生に向けた生産性向上の取組
22 年度	木材の需要拡大ー新たな「木の文化」を目指して
23 年度	東日本大震災からの復旧・復興に向けて
24 年度	森林・林業の再生と国有林
25 年度	森林の多面的機能と我が国の森林整備

注：特集は昭和 47 年度から掲載